

Press Release

報道関係各位



脱プラの可能性が広がる次世代素材セルロースナノファイバーの製造を開始 「ステラファイン ®」のパイロットプラントを建造

丸住製紙（本社：愛媛県四国中央市川之江町、代表取締役社長：星川知之）は天然素材由来の次世代素材セルロースナノファイバー（以下 CNF）の化学変成技術の独自開発に成功し、「ステラファイン ®」と命名しました。

パイロットプラントは2021年5月の完成を目指し、川之江工場内に建造します。併せて、事業化に向け7月1日に新組織としてCNF推進室を設置しました。



自社 CNF ステラファイン

■ 紙づくりの100年から次の100年へ

CNF推進室では、これまでラボレベルで培ってきた技術を、CNFのパイロットプラントに反映させ、生産技術の確立を図ると共に、展示会などを通じて幅広く用途開発を推進します。CNFサンプル提供は2019年12月より行っております。CNFの安定製造と、使用用途を拡充し、創業から100年続いてきた丸住製紙の次の軸になる事業に育てていきます。パイロットプラントの生産能力は年間約50トンです。

■ スケジュール

2020年5月 CNFパイロットプラントへの設備投資を決定
2020年7月 CNF推進室を設置
2021年5月 試運転開始

■ CNFとは

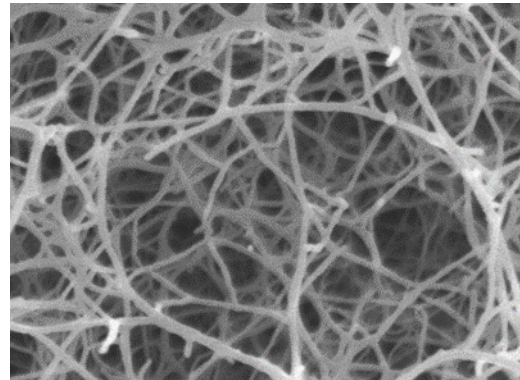
CNFは、当社の強みであるパルプ製造技術を用いて得られた漂白クラフトパルプ（木質繊維を化学的に取り出したもの）を、化学的及び機械的に繊維をナノレベルまで解繊することによって製造するものです。

木材という天然由来の素材であり、石油由来であるプラスチック素材と比べて、生産・廃棄の際に環境負荷が少ないというメリットがあります。

■ 当社の CNF の特徴

CNF は新素材であることから注目度も高く、製紙業界に限らず、様々な企業が研究をしております。当社の CNF は、高透明性、高粘度、チキソトロピー性、高保水性等の特徴を持っております。この特徴を生かした用途開発を企業や研究機関等と進めています。

ステラファインというネーミングは「ラテン語の星 (Stella) と英語で細かいを意味する (Fine) を合成した造語で、CNF の世界で輝き続ける星でありたい」という思いが込められています。



FE-SEM (電子顕微鏡) 10 万倍

■ 今後の方針・見通し

パイロットプラントで生産技術を確立させ、使用・販売の実績を積んだ後に、次の段階として商用プラントの建造を進めていきます。

会社概要

- 社名：丸住製紙株式会社
- 所在地：愛媛県四国中央市川之江町 826 番地
- 設立年：1946 年 (創業 1919 年)
- 資本金：12 億円
- 売上高：595 億円 (2019 年度)
- 従業員：671 名
- 主な業務内容：新聞用紙・出版用紙・印刷用紙・情報用紙・包装用紙・衛生用紙・クラフトパルプの製造ならびに販売、バイオマス発電、太陽光発電
- URL：<https://www.marusumi.co.jp/>

メディアの方のお問い合わせ先

<広報>

- 電話番号：0896-57-2219
- 携帯番号：080-7175-3044
- FAX：0896-57-2290
- メールアドレス：kouhou@marusumi.co.jp
- 担当者：総務人事課広報係長／篠原

<技術>

- メールアドレス：contact-rd@marusumi.co.jp
- 担当者：CNF 推進室長／後藤